

		問題点	改善点
ゾーニング	病棟での実践の流れ	ゾーニング方法についての行動が不明瞭であった	役割分担の明確化
			進捗状況の確認
			協力体制
	濃厚接触者の入院環境の確保	トイレや洗面台を専用で使用できる場所の確保ができなかった	個室をエリア内に設定し専用で使用できるように確保
			病室の密度が高かった
エリアゾーンの表示	テープでのマーキングだけで不明瞭であった	衝立等を用いて明示	
状況説明内容の不足	混乱や過剰なご心配をおかけした	文章の配布やホームページでの発信等で、速やかに十分な説明を行う	
感染対策	医療従事者の教育	標準予防策の実施ができていなかった	ゾーニング基準の理解
			個人防護具の取り扱いの実践及び管理
			廃棄物の取り扱い
		患者様への指導（マスク着用や手指衛生等）	
	手指衛生が未だ不十分	院内の全職員・委託社員にも徹底する。	職員同士で声掛け合い、徹底を図る